

！ その他

雄武浄化センター一般開放

雄武町の下水道は、日常生活で使った水、し尿を「汚水」として下水道管を通して下水処理場（雄武浄化センター）に集め、微生物の働きを利用して、きれいな水によりがえらせています。

これにより、清潔で快適な生活環境が確保されるほか、河川や海などの公共用水域の水質保全や環境改善にも貢献しています。また、下水をきれいな水にする過程で発生した汚泥をコンポスト（堆肥）化し、資源の再利用にも取り組んでいます。

日時 9月30日(日) 9時～15時
場所 雄武浄化センター(曙)

その他 施設の一般開放と同時に、汚泥発酵肥料「おうむ1号」を無料配布します。1人につき最大で土のう袋5袋程度を予定しております。

が、数量に限りがありますので、品切れの際はご容赦願います。また、土のう袋は1人につき1枚用意しますが、それ以上を希望する場合は各自でご用意ください。

関連水道課下水道係

公証週間のお知らせ

10月1日(月)から7日(日)までは公証

週間です。公証制度は、遺言、成年後見をはじめ、住民の皆さんに密接な関係がある制度です。

公証人は、公証役場において遺言や大切な契約などの公正証書の作製、会社を設立する際の定款の認証などを行っています。

「遺言は公正証書で」

公正証書遺言は、自筆遺言証書のように裁判所での検認は必要ありません。原本は公証役場で保管し、偽造、変造や紛失の心配もありません。また、公証人が自宅や病院へ出向き遺言書作成することもできます。公証制度の詳細については、日本公証人連合会のホームページ、もしくは、次の連絡先にお問い合わせください。

問旭川公証人合同役場

☎ 01666・23・0098

問名寄公証役場

☎ 01654・3・3131

問旭川地方事務局

☎ 01666・38・1144

芸術文化振興事業補助金

教育委員会では芸術・文化振興を図るため、雄武町芸術文化振興事業補助金交付要綱を新たに制定しましたのでお知らせします。

芸術・文化関連分野で予選会を経て出場する全道または全国大会に出場する者に対して参加経費の一部を

補助しますので、補助金の交付を希望される人は、次の事項に留意し申請してください。

対象者

町内に住所を有し、かつ、生活実態のある者、町内の小中高等学校に在籍する児童生徒

申請方法

所定の補助金交付申請書などの必要書類を教育委員会に提出してください。

対象経費

交通費、宿泊料および大会参加料
補助対象経費の2分の1または3分の2
詳細については、お問い合わせください。

問教育委員会教育振興課生涯教育係

夜間における役場への非通知電話に対する対応について

雄武町役場への電話については、20時から翌8時までの間、雄武消防支署に転送され、消防職員が対応していますが、火事や救急出動の際には、役場への電話に対しすぐに対応することができず、着信があった番号にかけ直しをするなどの対応をする場合があります。

しかし、非通知の電話に対しては、このような対応をすることができないことから、非通知を解除していたかどうか、電話番号の前に186をつ

9月10日～16日は自殺予防週間

全国で自殺によって亡くなる人は、国全体の取り組みもあり平成24年には15年ぶりに3万人を下回り、平成29年には約2万1千人に減少しています。しかし、交通事故により亡くなられた人と比較して約6倍と、依然として大きな社会問題であることは変わりありません。

紋別保健所管内においても、全国同様減少傾向にあるものの、例年15人ほどの人が自殺で亡くなっています。

自殺の原因の多くは「うつ病」など心の病気が関係しており、「うつ病」などの早期発見・治療により多くの自殺は予防することができると言われています。

心の病気を正しく理解して、かけがえのない命を守りましょう。

自殺予防のための行動

3つのポイント

気づき

周りの人の悩みに気づき、耳を傾ける。

家族や仲間の変化に敏感になりましょう。じっくりと話を聞く場を持ち、相手の気持ちを尊重し、共感しましょう。

つなぎ

早めに専門家に相談するように促す。

心の病気の兆候があれば、本人の置かれている状況や気持ちを理解

けてダイヤルするなど、電話番号の通知をお願いします。

なお、今後、非通知の電話に対しては「あなたの電話番号は通知されていません。おそれいりますが、電話番号の前に186を付けておかけ直してください。」というアナウンスを流すこととなりますので、ご承知願います。

問総務課庶務係

9月議会定例会開催

定例会は3・6・9・12月の年4回開催され、議案審議のほかに一般質問が行われます。また、9月定例会では各会計の前年度決算についても審議されます。

議会はどなたでも傍聴できます。皆さんの来場をお待ちしています。

開会 9月18日(火) 10時

場所 役場庁舎3階 議場
問議会事務局

役場庁舎別館へ来庁される人へ

脳検診実施のため庁舎別館玄関前に検診車両が駐車します。

実施期間中は、通路が大変狭くなることに加え、受診者が検診車両から出入りしますので、車でお越しの際には十分な注意をお願いします。

実施期間

9月10日(月)～12日(水) 14時頃まで
問保健福祉課保険給付係

してくる家族、友人、上司といったキーパーソンと連携して、専門家への相談につなげましょう。

見守り

温かく寄り添いながら、じっくりと見守る。

・自然に應對するとともに、身体や心の健康状態について配慮し、優しく見守りましょう。

・必要に応じ、家族と連携をとり、主治医に情報を提供しましょう。

紋別保健所では、心の健康を守るために、次のような活動をしています。

・職場、町内会および青年部会等の地域の団体の依頼に応じて、心の健康に関する講話をしています。派遣にかかる費用は無料です。

・保健師や専門医が、心の健康に心配のある人、飲酒やアルコール問題、ギャンブル問題をお持ちの人の相談をお受けしています。

心配のあるご本人だけではなく、ご家族や関係者の人も利用できますので、お気軽にご相談ください。

問紋別保健所健康推進課健康支援係
☎ 0158・23・3108

ヒグマに注意

今夏は全道的にもヒグマの出没や目撃情報が多く、山菜採りや釣りなどで野山に入る機会があるときは、各人が十分な心構えをすることともに、遭遇事故を防ぐため、次のことに注意してください。

○ヒグマと遭遇しないために

・ヒグマ出没情報は、警察や役場産業振興課林務係に問い合わせ確認してください。

・ヒグマの出没が予想される野山での単独行動は、人とヒグマの双方で気付くのが遅れ、危険な状況になる場合がありますので、集団での行動を心がけましょう。

・鈴の携行や笛を吹くなど、人の存在をヒグマに知らせる工夫をしましょう。

・ヒグマの活動が活発になる早朝や夕方、ヒグマが人に気づきにくい霧や雨のときは特に注意が必要です。

・残飯や空き缶などのゴミを捨てたり、埋めたりしては決していけません。ヒグマは人間の食べ物の味を覚えると、これらの物を得るために危険な行動をするようになります。

・ヒグマは死亡した動物なども食べるため、食料があれば冬眠しない場合もあります。動物の死骸を見つけたら、近寄らず、速やかにその場から離れましょう。



○ヒグマと遭遇した場合

・走って逃げたり大声を出したりすると、ヒグマを興奮させてしまい大変危険です。こちらに気付いていないようであれば、その場を静かに立ち去りましょう。

・距離が近い場合は、ヒグマから視線をそらさず、動きを見ながら、ゆっくりと後退しましょう。

・子グマに遭遇した場合は、親グマが近くにいるケースがあります。驚かさないう、速やかにその場から離れましょう。

・万が一ヒグマが向かってきたら、服や持ち物をその場に置いて、ヒグマの気を引くことも効果的です。

・ヒグマとの遭遇を想定し、クマ撃退スプレーを携行しましょう。

・足跡や糞などを見つけた場合は、情報をお寄せください。

秋のヒグマ注意特別期間

9月8日(土)～10月31日(水)

問産業振興課林務係